

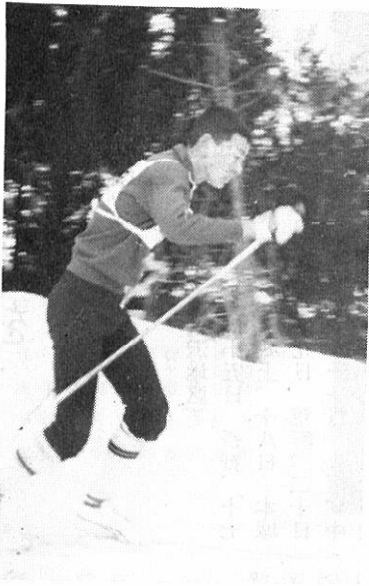


広報 もりよし

発行編集・森吉町役場企画開発課
印刷所・米内沢中央印刷所

No. 204

1975. 2. 15



米内沢小が優勝

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

森吉小は準優勝

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○



第十回 阿仁部小学校スキー大会

がんばった地元校

第十回阿仁部小学校スキー大会は、一月二六日米内沢で開かれ、米内沢小学校が初優勝、森吉小学校が準優勝をかぎりました。

参加校は阿仁部全校と、鷹巣から二校あわせて十九校でした。(成績はつぎのとおりです。)

(総合)

- 第一位：米内沢、二位：森吉、三位：阿仁合、四位：沖田面、五位：合川南、六位：小沢田、七位：大阿仁、八位：前田、九位：浦田、十位：鷹巣西、以下略
- (女子二km) 五年
 - 第一位：柴田はるみ(米小)
 - 四位：吉田 信子(森小)
 - 五位：新林 誠子(森小)
 - 七位：松浦真由美(森小)
- (女子四km) 六年
 - 第一位：秋元利里子(米小)
 - 二位：石川 正子(森小)
 - 三位：武石 幸美(米小)
 - 六位：武石 美幸(米小)
 - 七位：佐藤由加里(浦小)
 - 十位：柴田 洋子(米小)
- (男子四km) 五年
 - 第一位：金田 博文(米小)
 - 二位：木村 嘉春(米小)
 - 三位：神成 則夫(前小)
 - 四位：吉田 正博(森小)
 - 六位：吉田 勝彦(森小)
 - 十位：森川美智男(前小)
- (男子四km) 六年
 - 第一位：成田 耕治(米小)
 - 二位：檜岡 芳明(米小)
 - 四位：近藤 浩美(浦小)
 - 六位：新林 宏明(森小)
 - 八位：大川 文章(森小)
 - 九位：武石 秀典(米小)
- (女子リレー)
 - 第一位：米内沢小
 - 第四位：森吉小
 - 第七位：前田小
 - 第九位：浦田小
- (男子リレー)
 - 第一位：米内沢小
 - 第五位：森吉小
 - 第六位：浦田小
 - 第九位：前田小
- (女子回転) 五年
 - 第一位：吉田スミ子(森小)
 - 三位：庄司 文子(前小)
 - 七位：若松 京子(前小)
- (女子回転) 六年
 - 第六位：松橋 隆子(米小)
 - 十位：柏谷はるみ(米小)
- (男子回転) 五年
 - 第一位：松岡 豊(米小)
 - 六位：白沢 一仁(前小)
 - 九位：田中 寿(前小)
- (男子回転) 六年
 - 第三位：山田 義彦(森小)
 - 五位：石川 忍(浦小)
 - 八位：日景 瑞郎(米小)

住民登録人口

昭和50年1月
末現在

人口	
男	5,565 (+15)
女	6,007 (+7)
計	11,572 (+22)
世帯数	2,780世帯

は、二百年の距離を感じないのが面白い。

「米殿甚だ不足」

一、米殿甚だ不足に見えるので、新穀出るまでは、嫁とり、婿とりの大札たりとも、親類盆事一通り、他より樽入等かつて相成らず、年賀の事又内祝も簡単にせよ、一、吉凶に付親類相寄り、又講事の出会など諸事質素にせよ。

これも農民に与えられた条目の勸農の一部であるが、

御神体は巨石

委員 佐林 幸吉

阿仁合線桂瀬駅に下車し桂瀬部落を通り抜けて徒歩すること約二十分。左手の鉄道の小さな鉄橋をくぐり僅か行くとゴッポと滝の音が聞える。これが秋田百景の一である四十八滝である。巾二米余、高さ約十五米位の滝である。この水は約百米位で阿仁川に合流する。この沢を大滝沢とい、ここには大小合せて四十八の滝があると言われ最後のこの大滝が四十八滝と呼ばれている。この滝の側に不動様と言われる今木神社があり、御神体は高さが約一米二十種位ある大きな石で、この巨石について次のような事が語られている。

阿仁川は阿仁文化発達に深い関係があったことは論を俟たないことであろう。川筋は今と異っている処も

あるだろうが、沿岸の荷物の積み卸しに都合のよい所に船場が出来たものであろう。船場は現在の鉄道の停車場の役割で周辺には船頭の船宿その他の生活に關係する人々で集落が構成されたことであろうと考えられる。

きょうも上り下りの船が川の水面に影をおとしている。阿仁川に一隻の上り船。昨日か今日かわからないが下流の町に何か荷物を運んで帰途を急いでいるのであろう。中には大きな石が一つ積まれてある。流れの緩やかところが二人で交互に棹しながら静かに上っていく。瀬にかかると一人の船頭は素早く船から綱と共に走り自分の肩に綱を掛けて船を引く。船の中で棹す船頭、陸と水中かまわず引き

郷土の社寺

委員 松橋 照蔵

郷土の社寺堂宇を知るには、先ず若干の前知識を持つていなくてはならない。そこで最初に、これだけ必要だということを二、三述べてみよう。

一、神仏習合 日本人の信仰観念また実践のなかで固有の神道のそ

上げる船頭。二人が渾身の力をこめて漕ぎ意気の合った仕事。このような活動が幾度か繰返えされながら上羽立の下の瀬に差掛った。今迄順調に進んで来た船脚がびたりと止り一寸も動かなくなつた。

船頭たちは不思議に思い舟底が何かに乗り上げたのではないかとよく見たが何の変りもない。然し微動だにしない。二人は程々困り果て暫く思案に余つた。そこで二人は相談の上ここに降ろして帰ることにした。

重かつた苦の石が案外軽々と持ち上げられた。このま、放置していくのも気にかかり大滝沢を上り、丁度四十八滝の下まで運んで行った。この巨石こそ今木神社の御神体として祀られているのだと土地の人々が語っている。

防火作文第三位 「私の経験」

森中米内沢校舎 三〇 安東洋子

私は、何か一つのことを終ったあとで、いま自分がしたことを思い出して胸がいたくなります。そのときは、自分はこれでいいんだ、これが正しいんだとは思いますが、思いおこして、後悔とでもいう気持ちにおそわれてしまいます。

このあいだも、こんなことがありました。それは、父母が、父の妹の結婚式に出席するために、上京しようとしていた日のことでした。その日、私と弟は、ふ

たりで古い家に仕事をするためにでかけました。そして、古い家で私たちは、ドラムカンの三分の一で作った火ばちの代用品に、火をおこしていました。炭ばちのからやらしばをたくさんくべて、火が天井にとききそうになるまで、もやしてしまいました。そのときは、火は天井にとどかなかつたと思いましたが、

その晩、父母は出発し、私に家のことがまかされました。私が後悔になやまされたのは、その晩ふとんにはいつてからでした。なかなかつかれずにいるうちに、古い家のことが心配になってきました。本当に火のときは天井にとどかなかつたのか、ドラムカンの中の火は、確かにきえていたのだろうか。そんな思いのために胸がしめつけられる思いでした。

起きるやうに思いましたが、もう十時すぎでしたから、どうすることもできませんでした。その晩、父母は出発し、私に家のことがまかされました。私が後悔になやまされたのは、その晩ふとんにはいつてからでした。なかなかつかれずにいるうちに、古い家のことが心配になってきました。本当に火のときは天井にとどかなかつたのか、ドラムカンの中の火は、確かにきえていたのだろうか。そんな思いのために胸がしめつけられる思いでした。



ねんきん 福祉年金の 福 裁 定 請 求 を ま せ ん か 忘 れ て い ま せ ん

(1)老齢福祉年金 明治四十四年四月一日までに生まれた人が、七十歳に達したとき。

(2)老齢特別給付金 明治三十九年四月一日以前に生まれた人が、老齢福祉年金を受けられる要件に、

(3)障害福祉年金 日常生活に著しい制限を受ける程度(国民年金法障害等級表に該当するとき)の障害の状態にある二十歳以上の人が、つぎのどれか一つに該当するとき。

(4)母子福祉年金 夫と死別した二十歳以上の妻が、義務教育修了前の子、または、二十歳未満で国民年金法障害等級表に該当する程度の、障害の状態にある子を養っている場合で、つぎの要件のうちどれか一つに該当するとき。

保険料を滞納していればいけません。 明治四十四年四月一日までに生まれた妻が、昭和三十六年四月一日以後に夫と死別したときに、年金が支給されることになっています。

主なものはつぎのとおり (1)公的年金を受けているとき。(2)ある程度の所得があるとき。(3)障害の程度がよくなったとき。(4)国内に住所がないとき。(5)義務上の災害補償を受けることができるとき。

たばこは町内から買いますよ

歴史用語 解説 昔の通行バス「御判紙のないもので町送り、伝馬、歩夫などをするととがめる」と、村々に公

布した。 居下御免(農事功労者に、居住の負担(税)を免すること。 居下除地(一居宅の地が無税の特典を受けた場合の用語。 入会(一定の山林、原野に入合い、その毛上(もうじょう)を集团的に採取すること。 運上山(藩で運上を徴収して、雑木、柴草の採取を許したものを。 永代地(長期にわたり耕作権を確保した土地。 長百姓(肝煎の相談役として村の政務に参与したものをいう。 御留木(宝暦年代から伐採を禁止したものをいう。 青木(杉、松、黒松、赤松などの針葉樹) 四木(茶、椿、桑、漆) 八木(栗、桂、朴、柵、マダ、黄蘗、楓、榎) 御目付(監察の役。今の刑事主。 親郷(寄郷を統括するもの設定は元和元年。 寄郷(親郷にふくめられる一つ一つの村。 毛上(地上に生えた木、柴草などの地上物件をいう。 結(労働力の交換。「よい」というところもある。 六公四民(田畑の総收穫を、領主六分、農民四分の割合に分けた制度。

いのですから、私のような経験をしたことのある人だけでなく、多くの人が私たちの気持ちを理解して、火災のない町がつくられたらそれにこしたことがないと思います。

毎年、兎狩りの期間中に暴発や流れグマによる事故が発生していますので、くれぐれもご注意ください。

猟期が終わると、銃やタマの保管がおろそかになりがちです。カギのかかる堅固な保管庫に、別々に厳重に保管し、時々点検を忘れないように。

子どもには、銃やタマに絶対的に手をふれさせないように。(森吉警察署)

児童扶養手当制度を

ご存知ですか

父親のいない家庭の児童または、実質的に父親が不在の状態にある児童について、その児童を監護する母または、母にかわって児童を養育している人に対し、国が児童扶養手当を支給して、児童福祉の増進をはかることを目的とした制度。

(手当の受給資格は：)

- ①国内に住所がある日本国民が、義務教育終了前、または、二十歳未満の心身に障害のあるつぎのいずれかに該当する児童を養育しているときに、支給されます。
②：父母が、婚姻を解消した児童。
③父が死亡した児童。
④父が重度(身障一〜二級程度、国民年金の障害(福祉)年金一級程度)の廃疾状態にある児童。
⑤一年以上にわたり父が生死不明か、父から遺棄さ

れまたは、父が法律により拘禁されている児童。
⑥母が婚姻によらないで生んだ児童など。
ただし、つぎの場合は受給対象となりません。
⑦母または養育者が、母子年金、遺族年金などの公的年金を受けているとき。
(障害福祉年金、老齢福祉年金を除く)
⑧児童が公的年金の対象になっていないとき。
⑨児童が、労働基準法の遺族補償をうけているとき。
⑩児童が、児童収容施設または、里親に委託されているとき。

⑪母または養育者の前年の所得が、一定の額(扶養親族五人で二百二十一万一千円)をこえるとき。
(手当の支給額は)
児童一人の場合：月額九千八百円、二人の場合：一

万六千円、三人目以降は児童一人ふえるごとに四百円が加算されます。
体育行事のご案内
町民スキー大会
日時：三月二日(日)
会場：米内沢スキー場
春山スキー登山
日時：三月二日(土)
二三日(日) (一泊二日)
会場：森吉山
町民体育館を開放します
期間：三月末日まで(毎週金曜日)
時間：午後五時〜八時
種目：トランポリン、バトミントン、卓球、バレーボール、バスケットボール
(お願い)
※上ばきを必ず持参してください。
※小・中学生は、必ず父兄同伴でおいでください。
※トランポリンは危険ですので、父兄監視のうえ使用してください。

前田和裁学級
対象：一般成人女子
講師：村岡愛子
時期：毎週火、土曜日午後七時から

詩吟講座
対象：一般成人男女
講師：野村白城氏
時期：毎月第二、第四土曜日午後一時から
生け花講座
対象：一般成人女子
講師：庄司敏子
時期：毎月二〜三回
(いずれも前田公民館主催、会場も同公民館で)

根森田和裁学級
場所：根森田児童館
対象：一般成人女子
講師：村尾リヤ
時期：毎日
▲午前の部：十時から
▲午後の部：一時から

冬期間の事故防止のため、次の踏切は敷板を取りはずしてありますので、ご協力くださるようお願いいたします。
▲米内沢桂瀬間：白坂
▲桂瀬前田間：下前田
▲前田阿仁合間：大岱

前田阿仁合間：大岱
森吉町公民館

森吉町公民館

森吉町公民館

香典がえし

次の方々から、香典がえしにかえて、尊い浄財の寄付をいただきました。
三〇、〇〇〇円
秋田市 木村作之助
一〇、〇〇〇円
白坂 田崎トクエ
一〇、〇〇〇円
浦田 武石 光男
一〇、〇〇〇円
寄延 石崎易五郎

寄付金
歳末たすけあいクリスマスパーティ
前田青年会代表 山田 豊
三、〇〇〇円

慶弔だより
☆出生 おめでとございます
北林 昌晃(博) 新丁
味森 聡(温) 新町
高橋 美和(早美) 御嶽
岩間 義宣(守) 向本城
奥山 桂(幸雄) 大淵
小林奈穂子(繁) 浦田
工藤千鶴子(勉) 寄延
萩野 慎二(高男) 川向
山田 恵子(武雄) 向様田
片岡 睦月(敏夫) 上羽立
石川 昌吾(忠義) 冷水
吉田 聡(美代治) 様田
佐藤由佳里(義隆) 神成
森川真貴子(鉄次郎) 新屋敷

☆死亡 おくやみ申し上げます
加賀谷 明 忠上小阿仁
九島 みち子 鶴田
上杉 弘 東京都
近藤 静子 御嶽
清沢 芳門 東京都
細田 恵子 新丁
正田 伸一 愛知県
赤石 久美子 新丁
宮野 貞寿 小又
藤本 明美 浦田
浦坪 春松 桂坂
佐藤 夕ミ 阿仁前田
守谷 富士夫 神奈川
森川 サチ子 小又
庄司 文男 惣内
伊東 京子 阿仁町
庄司 教克 阿仁前田
土屋 幸子 静岡県
高橋 幸明 冷水
阿部 京子 大館市
田中 正広 新屋敷
杉本 はつえ 東京都
田丸 修二 千葉県
斎藤 光子 深渡

☆死亡 おくやみ申し上げます
北林 サタ 大杉
武石 友治 浦田
細田 カヅ子 中新田
田崎 運蔵 白坂
泉谷 ナツ 大沢
石崎 ヌヒ 寄延
藤島徳之助 細越
庄司 アサ 阿仁前田
新林 カン 小滝

☆死亡 おくやみ申し上げます
落合 弘(晃) 森吉

☆死亡 おくやみ申し上げます